

第4号

誇りある国づくりをめざす北海道のオピニオン誌

北海道の息吹

平成28年6月

4

巻頭言 日本国議北海道本部 理事長 田下昌明	01
平成27年度 主な活動内容	02
写真で見る一年の主な活動	03・04
櫻井よしこさん講演会	05
建国記念の日 奉祝道民の集い	06
安保法制賛成! 北海道デモ行進	06
戦後七十年「日本の今」を考える講演会	06
平成28年度活動方針・事業計画案	07
[コラム]「我々の責務とは何か」 沢田英一	07
ここだけの話「まぼろし講演会」	08
田下理事長・愛媛での講演	08
慰安婦バナエル展	09
人物クローズアップ「スーパー爺、奮闘記」	10
女性の会「草の根運動」	11
息吹のひろば	12
「日本会議札幌市議会議員連盟」設立	12
[コラム]「現地を見て心に刻む」 高森俊和	13
日本会議とは	14
編集後記	14

日本会議北海道本部

東日本大震災から五年が過ぎて

日本会議北海道本部

理事長 田下昌明



昭和12年旭川生まれ。北海道大学医学部卒。現在、医療法人歓会豊岡中央病院会長。著書に「真っ当な日本人の育て方」(新潮選書)ほか多数。

ぞれの持ち場で、落ち着き、うるさいことを、たゆみなく、懸命にやつてののです。そしてそれは、先に逝った人々の志を受け継ぐことにもなるはずです。

早いもので、今年もまた三月十一日が巡ってきました。ですが、「もう五年」と「まだ五年」、時の流れの早さというものは、被災された当事者の方々と、そうではない方々との間では異なるような気がします。

あの日、私は勤務先である病院の自室で揺れを感じ、ほとんど地震がない旭川でこれほど揺れると、と慌ててテレビをつけようと信じ難い光景が目に飛び込んできました。その時のさまざま模様は、今でもはつきりと思い出すことができます。

今年の三月三十一日に催された、政府主催の東日本大震災五周年追悼式での陛下のお言葉が、政府の勝岡寛次先生が、私たちは、「天皇陛下を宝の持ち腐れにしてはならない」と強調、占領軍が押しつけた「國の形に反し、家族を解体する」現憲法改正が急務と熱弁。参加者約60名。

けられたメッセージの中にもありました。この一節です。
「この大災害を生き抜き、被災者としての自らを励ましつつ、これから日々を生きようとしている人々の雄々しさに深く胸を打たれています。」
そして、同じお言葉が終戦直後の昭和二十一年の歌会始、先帝の御製にもあるのです。御代より何ひとつ変わってはいません。
「降り積もる 深雪にたえて色かえぬ 松ぞ雄々しき 人もかくあれ」
ずっと一本の糸が通っていると思いませんか。これこそが我が国が世界に誇る皇室なのです。悠久の神代より何ひとつ変わってはいません。

お言葉は続きます。
「このよくな中で、自衛隊、警察、消防、海上保安庁を始めとする国や地方自治体関係者、さらには、一般市民が、厳しい状況の中で自らの危険や労をいとわず救助や捜索活動に携わったことに深い感謝の念を抱いています」
「今はお不自由な生活の中で、たゆみない努力を続けている人々に思いを寄せ、被災地に一日も早く安らかな日々の戻ることを一同と共に願い、御靈への追悼の言葉」といたします」

御靈となられた方々に、このお言葉は必ずや届いているでしょう。そして私たち国民は陛下に叱咤激励されているのだと、ひとりひとりが自覚しなければなりません。被災地復興に直接関わつ



卑劣な言い換えをして、今日も国益を損なう言動を続けている連中は、はたしてこの陛下のお言葉をどう聞くのでしょうか。

■ 卷頭言 ■



ご参加いただいた会員の皆様、ご協賛頂いた各企業・団体の皆様。この場をかりてお礼申し上げます。なお次ページで、写真で見る一年の主な活動を紹介しています。※「慰安婦パネル展」については、9頁参照。

8月22日

日本会議北海道本部公開講座

～歴史人物講話～

札幌かでる2・7にて開催。講師：岡田幹彦先生。演題は、「終戦70年」昭和天皇と大東亜戦争。参加者約90名。当本部では、私たちの父祖、先人が歴史に刻んだ偉大な足跡、光輝ある民族の物語を取り戻すため、本講座を年2回開催。次回開催は、当ホームページで告知。(この講座は日本会議の会員以外の方でも受講できます)

9月13日

安保法制賛成! 北海道デモ行進

※詳しくは6頁参照。

10月24日(土)

教育講演会

「次の世代に美しい日本を残すために」

～戦後教育を克服する道～

札幌北農健保会館にて開催。「昭和天皇実録」を読み解いた講師の勝岡寛次先生が、私たちは、「天皇陛下を宝の持ち腐れにしてはならない」と強調、占領軍が押しつけた「國の形に反し、家族を解体する」現憲法改正が急務と熱弁。参加者約60名。

11月10日

日本武道館にて、「今こそ憲法改正を!1万人大会」(主催：美しい日本の憲法をつくる国民の会)開催。北海道から27名参加。会終了後、靖国神社参拝。

11月28日

戦後七十年「日本の今」を考える

～映画と講演の夕べ～

※詳しくは6頁参照。

12月13日

日本会議北海道本部公開講座

～歴史人物講話～

札幌かでる2・7にて、開催。講師：岡田幹彦先生。参加者約100名。演題は、「終戦70年」昭和天皇と大東亜戦争第2弾。参加者約100名。

H28.2月11日

建国記念の日 奉祝道民の集い

※詳しくは6頁参照。

5月10日

「日本女性の会 北海道」設立

北海道神宮頓宮にて、国会議員、市議会議員、当会の田下理事長、武谷専務理事が来賓として招かれ、「日本女性の会 北海道」の設立総会開催。初代会長に浅井洋子氏が全会一致で選任。浅井会長は、「理念は大切にしながらも女性らしく、ホンワカと、しかし着実に活動を進めたい」と就任挨拶。参加者約40名。その後、同会場において「日本会議北海道本部」定期総会開催。参加者約70名。

5月30日

櫻井よしこさん講演会

「美しい日本の憲法をつくる道民の会」設立総会

※詳しくは、5頁参照。

7月15日

美しい日本の憲法をつくる道民の集い

札幌かでる2・7にて、憲法改正1千万人賛同者拡大をかる、全国縦断キャラバン隊の来道にあわせて開催。講師：1千万人賛同者拡大推進部長 藤井 勝氏。参加者約80名。

7月19日

「日本女性の会 北海道」第1回研修会

札幌かでる2・7にて開催。講師：参議院議員・山谷えり子先生。演題は、「家族、教育、国なおし～守ろう、美しい国・日本」。参加者約100名。

7月22日

札幌市教育委員に、中学教科書採択に関する要望書提出。

8月6日

日本会議「終戦七十年にあたっての見解」を、ホームページに掲載。





11月10日
「今こそ憲法改正を!1万人大会」
(日本武道館)



10月24日
教育講演会
「次の世代に美しい日本を残すために」

講師:勝岡寛次先生



5月30日
櫻井よしこさん講演会
「美しい日本の憲法をつくる道民の会」設立総会



12月13日
公開講座～歴史人物講話～



11月28日
戦後七十年「日本の今」を考える
～映画と講演の夕べ～

講師:伊藤哲夫先生



講師:櫻井よしこ先生



講師:岡田幹彦先生



H28.2月11日
建国記念の日 奉祝道民の集い



9月13日
安保法制賛成!
北海道デモ行進



7月19日
「日本女性の会 北海道」第1回研修会
講師:参議院議員 山谷えり子先生



2000名の熱気につつまれた、 櫻井よしこさん講演会

「そちらの方、私の顔が見えますか？」

北海道特有の問題提起に、「目からウロコ」を実感

講演会では
あまり見かけない光景が

本講演会は、「美しい日本の憲法をつくる道民の会」の設立記念として実施されました。札幌市内のホテルでは最大収容人数(2000人)を誇るパークプラザが満席となりました。場内には4m幅のモニター2基が設置されましたが、ホールの構造上、柱が点在し前列左右両端は、講演者が見にくい位置となっていました。「そちらの方、私の顔が見えますか？」櫻井さんのこのソフトな第一声で講演会は始まりました。演題は、「誇りある日本を次世代へ～あなたの一步があしを変える！」。



また外
國資本に
よる日本
國土買
収の制限
を妨げて
いる。



建国記念の日 奉祝道民の集い

思わぬパブニングに真っ青！

好天に恵まれた2月11日。約700名の参加者で会場は満員になりました。(同日開催の「紀元節反対集会」の参加者は、主催者発表で400名)オープニングセレモニーは、「福井ばやし」。賑やかなお囃子が式典に華をそえました。記念講演は文芸評論家の小川栄太郎先生。演題は、「建国の精神と憲法改正の核心」の予定でした。しかし、前日からの吹雪で飛行機が欠航になり、先生の講演は中止に。そ

こで急遽、美しい日本の憲法をつくる国民の会制作の、憲法改正ドキュメンタリーDVD「世界は変わった日本の憲法は？」が上映されました。対集会の参加者は、主催者発表で400名)オープニングセレモニーは、「福井ばやし」。賑やかなお囃子が式典に華をそえました。記念講演は文芸評論家の小川栄太郎先生。演題は、「建国の精神と憲法改正の核心」の予定でした。しかし、前日からの吹雪で飛行機が欠航になり、先生の講演は中止に。そ



安保法制賛成！ 北海道デモ行進

国会議事堂周辺で、「安全保障関連法案」を、「戦争法案反対」と呼びプラカードを掲げる多くの人たちの報道がマスコミを賑わしました。そこでこの法案がいかに重要かつ喫緊の国家的課題であるかを、広く一般市民にアピールするため、9月13日、小雨の降るなか、日本会議北海道本部ほか保守系推進団体約100名が、街頭演説と国旗やプラカードを掲げて札幌モハネを行いました。



戦後七十年「日本の今を考える」講演と映画のタベ

11月28日(土)。北海道神社庁主催、神社本庁、神道政治連盟北海道本部、日本会議北海道本部共催により、ロイトン札幌で開催されました。参加者は約350名。副題は、「われらはいかなる覚悟をもつて、今後の日本に臨むべきか」。講師は、伊藤哲夫先生。『この日本の和平と豊かさを守るために何が求められているか。平和、平和と叫ぶだけでは平和は確保されない。それは「幻想的平和主義」である』。と述べられました。



「靖国のこころ」映画上映



北海道神宮
宮司 吉田源彦

ここだけの話

まぼろしの講演会

あわや講演会が中止に

平成28年の「建国記念の日 奉祝道民の集い」では飛行機が欠航になり、講師が来られなくなるというハプニングは前述しました。実はこれに近いことがありました。昨年、11/28開催の、戦後七十年「日本の今を考える」講演会。講師の伊藤先生は、当日昼ころ羽田発の便で札幌へ向かう予定でした。ところが、前日道内は猛吹雪の大荒れ。数日前も、悪天候で欠航便が相次ぎ大混乱になったことを武谷専務理事は思い出し、一抹の不安がよぎります。「もし、伊藤先生が来られなかつたら…」。来場者に「飛行機が欠航になり、講師が来られないで、今日の講演会は中止します」と言えません。

二人のピンチヒッター

そこでひらめきました。「田下理事長と私の二人で、約30分ずつの講演をしようと」。理事長は、全国各地で講演(下段)されています。かたや武谷専務理事も、これまで、大東亜戦争 人物評伝では西郷隆盛や山本五十六をはじめ、多数講演されているいわば「講演のプロ」。事前に内容を相談し、理事長はレジュメ(講演要約)まで用意していました。しかし、心配は杞憂におわり、当日は無事飛行機も飛び、講演会は盛況のうちに終えることができました。今となってはまぼろしとなったお二人の講演。機会があれば是非お聞きしたいといった声もあるそう。

中でも「日本国民は、(中略)平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」のくだりは、「私は連合国への家畜になろうと決意した」と言っているに等しい(家畜の条件)。そしてこれを遵守する誓約の

テーマは「母性の発生、及びその発達と育児、教育」で、それらが現代の日本において堕落した淵源には、終戦後のGHQによる占領政策、ウォーギルト・インフォメーション・プログラムの存在がある、ということになりました。それでもたたらされた日本国憲法は、「日本が二度と立ちあがれないようにする」という対日占領政策の基本方針にもとづいて我が国に押し付けられたものです。しかも、これを受諾しなければ「天皇に何が起つても知らないぞ」と、武力的脅迫をもつて日本政府に圧力をかけたという事実もあります。

そのほかにも欠陥、欠落、不備、矛盾に満ちているこの憲法を放置したままでは、国が正しく進むわけがない。その上この憲法のもとで青少年が我が国に誇りと希望を持つことができません。要するに、憲法全文及び9条、24条が我が国の母性の発生発達と青少年の発育を阻害しているということが、参加されたみなさんに伝わったのではないでしょうか。

(田下記)

田下理事長が3月20日、日本会議愛媛県本部女性部会主催による「憲法改正実現へ・女性のためのなでしこ憲法講演会」に登壇

日本会議北海道本部 平成28年度の〈活動方針及び事業計画〉(案)

一. 時局認識と活動方針

改めて言うまでもなく、本年度は「憲法改正」に向けて確かな展望と道筋をつけれるか、否か「正念場」となる年度である。

北朝鮮の核・ミサイルによる相次ぐ暴挙の突発、中国の力による露骨な海洋霸権の拡大、さらにはIS(イスラム国)による無差別テロの世界的拡散、大規模災害に伴う緊急事態惹起の懸念…等々、わが国を取り巻く安全保障環境は、今やまことに厳しい「眼前の危機」に直面している。

のみならず、国の平和と国民の安全は日本自らの

二. 事業計画と具体的活動内容

1. 「美しい日本の憲法をつくる道民の会」の拡大発展を期し、多彩な憲法改正道民運動を展開する
2. 道内主要拠点都市の「支部結成」に努め、「会員900名達成」目標に邁進する。
3. 組織拡大及び財政基盤確立を目指し、「日本会

手でこれを守るという「国防」条項が欠落した現行憲法によって、戦後70年の間に自主独立の気概や誇りが奪われ、国柄や日本人としてのアイデンティティが徐々に失われていく「緩慢なる危機」にも晒されている。

しかしながら、憲法改正に対する理解は未だ深まつたとは言えず、世論のさらなる喚起、改憲気運の醸成に向け、一層の努力が強く求められている。

「憲法改正」はもはや現下の喫緊の命題だと言つていい。

議北海道経済人同志会(仮称)の組織化を図る。

4. 地方議員の保守系議員をターゲットとした「日本会議市町村議員連盟」の設立をめざす。
5. 「日本女性の会北海道」の拡大・発展を期す。

-我々の責務とは何か-

4月29日、北海道新聞の朝刊一面に「憲法評価88%」という見出しとともに、憲法に関する道民世論調査の結果が掲載された。「改正必要ない」は58%。今の憲法を評価する一番の理由は「平和憲法(第九条)により、戦後七十年間戦争に巻き込まれなかったから」である。第九条は、第一項「侵略戦争をしない」。第二項は「戦力の不保持」と「交戦権の放棄」。しかし現実は、世界で一番交戦権行使し、核兵器を保有する世界最強のアメリカ軍が、敗戦後の占領時から今日まで駐留し続けており、その上世界有数の装備を有する自衛隊が六十年以上、日本に存在している。

戦後日本には「戦力の不保持」どころか二つの戦力が存在し続けていたのである。戦後七十年間、戦力(武力)を持たず、憲法に平和と書いて国家を守ろうと考えた国は、日本を含め皆無ということである。戦後日本も、決して平和な状態ではなかった。北方領土はロシア、竹島は韓国が不法占拠し続けており、尖閣は、中国が領有権を主張し、連日領海侵犯を繰り返している。北朝鮮には、特定失踪者を含め八百名を超える日本国民が拉致されており、北朝鮮も拉致を認めている。

このような現状のなか、「この憲法にノーベル平和賞を」と叫ぶに至っては、もはやひとつの病理としか言いようがない。安倍首相になり、自民党結党以来の党は「自主憲法制定」に向かって動きだした。まずは、国家の最高規範である憲法をアメリカが起草したという事実である。また非常事態(戦争を含む)も想定していない。そして国家にとって最大の主権である国防の権利がないのである。

先の大東亜戦争において、日本の独立を死守するため、あの物量の差を物ともせず「特攻」まで遂行し闘った人たちと、次世代の子供・孫達のために、誇るべき歴史ある日本の独立を果たさなければならない。その責務が、戦後アメリカのゆりかごで惰眠をむさぼってきた我々にはあるのである。



医療法人社団英山会理事長
沢田 英一

札幌発言者塾(塾長:西部 邦)事務局長
日本のため行動する会(日行会)会長
日本会議北海道本部 常任理事

市川事務局長が語る、面白い いほど性格の違う一人

支部立ち上げ時から、我々会員

千歳恵庭支部の活動は、全国から注目を集めています。日本会議本部発行の、会員拡大「平成27年実践例」のなかで、以下のように紹介されています。「千歳恵庭支部」平成25年3月設立。設立時の会員数25名。平成28年2月、会員数105名達成。3年で会員数が実に4倍に!現在の役員は、支部長・小城照美、副支部長・野俣明、事務局長・市川和良。支部長、副支部長も自衛隊OBです。千歳は自衛隊の町であり、会員も自衛隊OBが多いのも特長です。会員数拡大の要因は何か。事務局長の市川さんに話を伺いました。

全国からも注目される千歳恵庭支部

人物クローズアップ スーパー爺奮闘記



をグングン引っ張てくださっている、副支部長・野俣さんについて語らせていだきます。支部長と同じ元自衛隊幹部であり、陸軍士官学校出身であっても、お二人の性格は大きく異なるようです。支部長の小城さんは時間に正確。冷静沈着で他人の話を静かに聞かれ、「和」を尊ぶタイプ。一方、野俣さんは、「今から行くから」と電話があつたり、だし止まなくなることもあります。そして一方的に話終えたら、サッと月光仮面(若い方は知らない



“スーパー爺”的野俣さん

次代になう子供たちのために

何と90歳ながら愛車シルバーシックを軽快に乗り回し、一旦緩急あらばどこへでもすっ飛んで行かれます。どこでもマイペースな御仁に見えますが、他人の見えないと見えていませんが、その行為がまさに「隠徳」を積んでおられます。具体的にいいます。早朝から子供達の登校時、信号機のそばで、緑と縞の腕章、そして旗をふりつつ、子供達を陰ながら見守つておられる。また、日中には、ゴミ拾いしながら散歩することも日課だとか。健康の基本のひとつが「歩くこと」だと言われていますが、その行為がさらに健康を促進していくようですが、また、自家製野菜ジュースを愛飲してます。それは、いまテレビで「真田丸」をやっていますが、徳川家康のことき

子供たちに、「日本人としての誇りと、美しい心を持ち、他の為に尽くす喜びを知つてもらいたい」。一献酌み交わすとき(90歳でも結構飲みます)、よくこの御仁が語る言葉です。日本人としての誇りです。

これからも続く慰安婦パネル展

実行委員会 伊藤昌勝 菅原勝明

「慰安婦」とは兵士を客とする公娼の美名です。慰問隊があった時代。勘違いして応募してきたお嬢様の話も残っています。prostitute(売春婦)と英訳すればよいものを秀才の外務官僚が美名の方を直訳しcomfort womanと発信しました。古来、世界にある追軍売春婦なのに、何か変なモノと国際的な誤解を生みsex slaveにまでエスカレートしております。

兵士達は彼女らの職場(慰安所)を「ピー屋」と呼んでいました。英語の頭文字を探ったと言う説もありますが、大陸引揚者の何人かは局部を指す現地の隠語だと言います。どうも、こちらの方に信憑性がありそうです。南京の慰安所では料金所の隣に売店もあったと言いますから、国内の公娼宿と何ら変わらないものであったことが分ります。

平成26年には、朝日新聞・北海道新聞が慰安婦に関する記事は虚偽・誤報であると訂正して読者に謝罪しました。しかし、これは海外には一切伝えられず、国際社会では歪曲・誤解されたままにあるばかりでなく、工作活動によって一層増幅されているのが実態です。

これを解決するには、まず日本国民が正しい知識を持ち、何を言われても自信を持って論破できることが大切です。私共は一昨年から、「史実に見る慰安婦」パネル展を各所で開催してきました。人通りの多い札幌駅前通地下歩行空間「チカホ」では一日千人ほどが立ち寄ってくれます。

史実を初めて知ったと言う人も多い中、日本を心配して心からの激励を下さる方々も少なくありません。仕事の合間を盗んでお手伝い頂いている皆さん共々感激で胸一杯です。当然、この活動はまだまだ続けることになります。

慰安婦パネル展のあゆみ

2013年 11月	「慰安婦パネル展」実行委員会設置
2014年 5月28~30日	有志により、北星学園大学前で3日間、パネル展のチラシ1400枚配布。北星学園大学は「慰安婦記事をねつ造した」などの指摘をうけた元朝日新聞記者が、非常勤講師として在籍(現在は退職)
2014年 6月1~2日	第1回:チカホで開催。来場者2211人
2017年 1月6~7日	第2回:チカホで開催。来場者2000人
5~7月	第3~5回:札幌エルプラザで開催。3回の合計来場者100人
8月17~18日	第6回:チカホで開催。来場者2078人
10月24~25日	第7回:札幌市西区民センターで開催。来場者132人
12月19~20日	第8回:札幌市東区民センターで開催。来場者165人
2018年 1月23~24日	第9回:札幌市厚別区民センターで開催。来場者142人
2月20~21日	第10回:札幌市千歳文化センターで開催。来場者102人
3月5~6日	第11回:中央区民センターで開催。来場者92人
1月6~7日	第12回:チカホで開催。来場者2295人

12回の合計来場者数 9,318名



△チカホでのパネル展で、スタッフに寄せられた声△

「修学旅行先の韓国で、土下座で謝罪させられる高校生達」の展示パネルの前で、「私もさせられ悔しい経験をしました」と証言された60代の婦人がおられました。ガールズカウトを引率して訪韓し、写真と同じ場所で同じように囲まれ土下座を強要されたが、「子供たちは何もわからないので自分が一人代表として嫌々土下座をした」との事です。

- ◆“初めて見ました。撮影は可能ですか、と若い女性”
- ◆“出兵した夫は、あんなことはなかった、と、ご高齢の女性”
- ◆“もっと、大々的にやらなくちゃ、と励ましの声かけの熟年男性”
- ◆“嘘と知ってから朝日新聞を止めた、とチカホで隣に出店していた方”

分室の
ニューフェイス
北山和香子さん

昨年10月から、事務等を担当している北山和香子さん。分室で仕事をするにあたり、最初、武谷専務理事からいわれたことは、「ホウレンソウ」(報告・連絡・相談)を密にすること。日常業務は、PC操作一切、会計処理、名簿のチェック・管理等々…目が回る忙しさ。そんな素振りは見せず、テキパキ仕事をこなしています。約半年が過ぎて感じたことは、細かな作業や仕事内容の多さに驚きつつも、「自身が成長し北海道本部の力になりたい」と話してくれました。



息吹のひろば

昨年10月から、事務等を担当している北山和香子さん。分室で仕事をするにあたり、最初、武谷専務理事からいわれたことは、「ホウレンソウ」(報告・連絡・相談)を密にすること。日常業務は、PC操作一切、会計処理、名簿のチェック・管理等々…目が回る忙しさ。そんな素振りは見せず、テキパキ仕事をこなしています。約半年が過ぎて感じたことは、細かな作業や仕事内容の多さに驚きつつも、「自身が成長し北海道本部の力になりたい」と話してくれました。

「日本の長い歴史が紡いできた連續した時間軸がある時に途切れ、別の『何か』が入り込んでいる。どうやら、それが日本の行く末に大きく関わり、日本人として意図しない方向に向かっているような気がする…」「日本が失った『何か』を取り戻す。これいいのか日本、北海道!」(浅井会長挨拶の一節)

こうした思いは、近年とみに続発の一途をたどる異常・異様な犯罪の数々を見るにつけ、良識ある日本人

ならば共通に抱く感慨ではないでしょうか。

「日本人が壊れつつある…」この背景を突きつめていくと、「家庭よりも個人」「義務よりも権利」「公よりも私」を優先し、個人の人権を偏重するあまり国家を否定し、国柄や日本の伝統的価値観を省りみなくなつた戦後教育行き過ぎた反戦平和教育にたどりつきます。

古来日本人は、家庭の中で互いに絆を深め、家族愛を育み、悠久なる歴史に刻まれた祖先の営みを学ぶ中で美しい伝統や慣習、美德を身につけてきました。それはまた、世界に比類のない日本人の特性として高い評価を集めて来たのです。

しかしこのまま、家族や共同体の連帯が失われ、砂粒のような「個」が國中に拡散していくならば、國への誇りや愛情も同胞愛も風化・蒸発し、日本人としてのアイデンティティーの喪失は、やがては亡国の道へとつながっていくに違いありません。

そして、こうした事態を招いた大本(おおもと)、根源を遡れば、どうしても現行憲法に行き着くと言えます。



日本女性の会北海道
事務局長 若原まゆみ

うした歴史認識を胸に、当面いかにも女性にとつては堅くとつきていく「憲法問題」に対し、理解を深め、共鳴・共感する女性の輪を広げていくことに挑戦していきます。

その手段、格好のツールが、「憲法おしゃべりカフェ」に他なりません。

憲法おしゃべり カフェ

で草の根運動を

道都・札幌に待望の「日本会議札幌市議会議員連盟」が設立

直近トピックス!

い。 今回の「快挙」は、十年來の日本会議正会員で、議長市議団の重鎮・三上洋右議員会長の尽力に拠るところ極めて大なるものがあつた。冒頭、設立代表



かねがね道都・札幌の「市議会議員連盟」結成は、私共・日本会議北海道本部が抱える最も大きな課題の一つだった。それが去る五月二十五日、札幌市議会大会議室で自民党所属議員二十三名を以て発足を見た。

道内人口の三分の一、札幌市内の十の「行政区」を束ねる政令指定都市・札幌に、日本会議の議員連盟が設立されたことの意義は大きい。これにより今後、各区毎に「支部」を立ち上げ、組織と会員の拡充へ向けた大道を開けたと言つてい

た三上議員は、日本会議の設立に至る沿革を述べた後、目指す理念・精神に触れ、活動の力点として、(一)日本独特の國柄・國風の根幹である「天皇・皇室の永続的護持」と、その象徴的イベントである「建国記念奉祝道民の集い」の二層構造の盛り上げ、及び(二)「憲法改正に向けた啓蒙・啓発活動の推進」の二点を挙げ理解を求めた。

その後、当面する運動方針としては、あくまで北海道本部が企画・立案する活動計画に沿つて参加、支援することとし、会長に三上洋右(豊平区)、副会長に高橋克朋(北区)、幹事長に宗形雅俊(南区)、事務局長に中川賢二(中央区)の各議員会長をそれぞれ選任して散会した。



日本会議ってご存知でしたか?

平成9年に設立され、全国47地区に本部、226地区に支部ネットワークをもつ会員数約3万8000人の国民運動組織です。私たちは美しい日本を守り伝えるため「誇りある国づくり」を合い言葉に様々な活動を行ってきました。

■これまでの主な活動

皇室の伝統を守る国民運動推進、建国をお祝いする行事を開催。伝統に基づく国家理念を提唱した新憲法の提唱。尖閣諸島をはじめ我が領土領海を守るために署名請願運動。教育正常化や歴史教科書の編纂事業。終戦50年に際しての戦没者追悼行事や自衛隊PKO活動への支援。

～日本会議綱領～

- 一、我々は、悠久の歴史に育まれた伝統と文化を継承し、健全なる国民精神の興隆を期す。
- 一、我々は、国の栄光と自主独立を保持し、国民各自がその所を得る豊かで秩序ある社会の建設をめざす。
- 一、我々は、人と自然の調和をはかり、相互の文化を尊重する共存共榮の世界の実現に寄与する。

編集後記

日差しにも吹く風にも、少しづつ初夏を思わせるさわやかな季節を迎えるました。会員各位におかれましては、平素の有形無形のご助力、ご支援に改めて感謝申し上げます。早いもので4号となる今号から、誌面構成を新たにし、「写真で見る一年の活動」のページを設けました。改めて写真を眺めつつ、5月の櫻井よしこさんの講演会をはじめ、実にさまざまな活動をしてきたことが実感できます。

諸活動が成功裏(動員数など)に終わると、ほっとひと息つく気もなくはありませんが、あくまでも私たちの活動目的は、上記の日本会議綱領にある通りです。

「人物クローズアップ」では、千歳の野俣さんをご紹介しました。ご高齢にもかかわらず、その獅子奮迅の働きには、日々驚かされるとともに頭がさがります。お話を聞きして、そのエネルギーの源になっているのが、次代を担う子供たちへの幸せを願う熱意からくるものだとわかりました。野俣さん以外でも、表には現れませんが、会員お一人おひとりの地道な活動が私たちの大変な力になっていると思います。

本年度は、活動計画にもあるように「憲法改正に向けて確かな展望と道筋をつけられるか、否か『正念場』となる年です。このことを肝に命じて、会員のみなさまとこの一年精力的に活動をすすめていきたいと思います。

編集:日本会議北海道本部 常任理事 丸谷竹次郎

あなたも日本会議に入会しませんか?

日本会議北海道本部では、新規会員を募集しています。会員種別は、正会員1万円、女性会員5000円、支援会員3800円(全て年会費)です。ご入会いただくと、機関誌・月刊「日本の息吹」の送付をはじめ各種特典があります。入会ご希望の方は、振替用紙をお送りしますので、分室までご連絡ください。ホームページからも入会できます。ご不明な点などありましたらお問い合わせください。

お問い合わせ

日本会議北海道本部(事務所分室)

〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目10番3 第28桂和ビル7階
TEL:011-209-3022 FAX:011-209-3023
ホームページ www.nipponkaigi-hokkaido.org

[日本会議北海道本部](#)



今こそ、「大和こころ」を取りもどす時が来た!

千歳市 有限会社 イチカワ北海食品

本社:千歳市豊里2丁目14-6
代表取締役 市川 和良

現地を見て 心に刻む

日本会議北海道本部 理事
理学療法士 高森 俊和

“森繁久彌さんの代表曲『知床旅情』の歌詞は誤りだった”の内容が頭に浮かび、改めて読み直しました。

『遙か国後に白夜は明ける』という歌詞だが、実際に私が見た光景は、遙か遠く…ではなく本当に手の届きそうな島と鼻の先にあった国後島。それは遠い島の出来事の様にイメージとして定着してしまっていた事。自分の足で現場を訪れ、目撃しなければ分からない事だ、と改めて一人納得していました。



羅臼町から見る国後島

今年の3月11日、東日本大震災発生の日に奇しくも私は仙台の地にいました。未曾有の出来事に誰もが言葉を失い、被災に遭わなかった私達の心にまで暗い影を落としたあの震災。一方、苦境の中でも凜とした行動をとられた東北の人々は海外に賞賛され、“絆”的言葉が日本中をひとつにしたように思われました。

あれから5年、当時の思いは薄れているように感じられ、かく言う私も現地に行かなければその事実に改めて向き合う事は無かったと思います。そんな私の心を見透かしたかのように起こった今回の熊本での震災、再び私達の心を祖国日本・そして同胞へと向き合わす事となりました。

この出来事から、自分が問われている事とは?そんな問い合わせが頭に浮かび、考えた末に行き着いたのは、この出来事は決して遠方の地の話ではなく、私の住むこの地、北海道でもあり得る事なのだという事でした。

しかし、いつ何時起るか分からない震災の話に留まらず、今現在も目の前にある脅威・問題が私の頭に続けて浮かび上がって来ました。それは「北方領土問題」。尖閣列島や北朝鮮のミサイル問題の様に頻繁にニュースの話題とはならなくとも、確実にロシアは北方領土を軍事要塞化する手筈を着々と整えている事は北海道に住む我々にとって由々しき問題です。

今回、仙台にて津波に呑まれた惨状を目の当たりにした訳では無く、その傷跡の一部に触れただけでしたが、思い返すと学生時代、北方領土・樺太の地を仲間達と共に眺める経験をし、こんなにも近くにある我々の国土がロシアに占拠されているのが歯がゆかったです。

当時を思い出すと共に、青山繁晴氏が著書【王道の日本、霸道の中国、火道の米国】にて述べられている

ロシアの不法占拠の続く北方領土・樺太・千島列島、尖閣諸島における中国の脅威、韓国に実効支配されている竹島、今も我々の同胞が拉致され、ミサイルでの脅しを止めない北朝鮮、国際的に頻発するテロの脅威…と日本を取り巻く脅威は挙げればきりがありませんが、その中でも北海道の“北の守り”は自衛官にお任せすれば安心、なのではなく我々道民一人一人が常に心の片隅に留め、この目・この足でその地を確かめるという事も大切なのではないでしょうか。



日本会議北海道本部は、山谷先生を応援しています。

参議院議員・前国務大臣

やまたに
山谷えり子 自由民主党
比例代表(全国区)

～家族、教育、国なおし～

